

まちセンからのお知らせ

北海道新幹線が3月26日に開業します！

待ちに待った北海道新幹線が3月26日（土）に開業します。
開業すると北海道から九州まで新幹線で結ばれることになります。

北海道新幹線
がやつてくる

新幹線はどんな乗り物？

日本の新幹線は、世界の鉄道の中でも1、2を争うスピードで運転されています。

北海道新幹線の営業最高速度は時速260キロメートルで、
東京から新函館北斗までの所要時間は最速で4時間2分となります。



■たくさん運べる！

新幹線は、1編成あたりの輸送力が大きい乗り物です。

例えば特急スーパー白鳥・白鳥は345～382席に対し、北海道新幹線H5系は10両編成で731席と約2倍の人を一度に運ぶことができます！

予定もバッタリでスノーカー



■時間を守る！

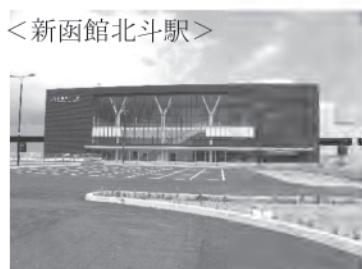
新幹線は雪や風に強く、運休や遅れることが少ない乗り物です。

時間に正確な乗り物です！



観光地としての北海道、函館市といったブランド力からも開業後は多くの方々が道南地域に来られると想定されます。

新幹線開業は道南地域にとって、大きなチャンスとなりますので、開業効果を地域全体に広く、永く波及させるためにも観光資源、地域資源の発掘や磨き上げを行い地域の魅力を発信するなどして新幹線開業へ向けて道南地域を盛り上げて行きましょう！



～～～北海道新幹線開業と同時にJR江差線は



道南いさりび鉄道株式会社 へと変わります～

北海道新幹線の開業に伴い、JR北海道から経営分離される江差線（木古内駅～五稜郭駅間）は、通勤や通学など日常生活に重要な役割を担っているとともに、北海道と本州を結ぶ物流の要であり、欠かすことのできない路線です。

道南いさりび鉄道は地域の公共交通機関として、この路線を引き継ぎ北海道新幹線と同じく3月26日（土）に開業します。

路線図



まちセンからのお知らせ

函館新外環状道路「函館IC～赤川IC〈通行無料〉」開通により、 産業道路の渋滞が大幅に緩和されています。

（函館開発建設部提供資料）

- 函館新外環状道路「函館IC～赤川IC」開通後6ヶ月が経過し、シルバーウィーク期間中は、平均約15,300台/日が利用しました。
- 道道函館上磯線、市道赤川石川線、市道美原学園通では函館新外環状道路への交通転換により約9千台/12h交通量が減少しました。
- 交通量の減少により、道道函館上磯線で発生していた朝方ピークの渋滞が約5割減、夕方ピークの渋滞が解消されました。

■函館新外環状道路の利用状況箇所図



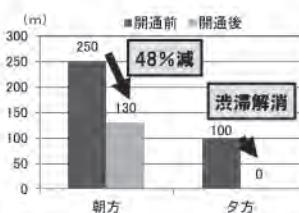
■開通後の主な渋滞発生状況 (H27.9.10)



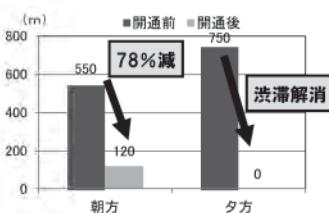
■交通量変化(A-A'断面)



■道道函館上磯線 (産業道路)の渋滞長



■市道赤川石川線 の渋滞長



※開通前H26.9.18(木)、開通後H27.9.10(木)
※朝方：7-9時、夕方：17-19時



地域の声

- ・朝方と夕方は特に、道道函館上磯線は渋滞で動かないような状況でしたか、開通後は交通が分散し、一般道の交通量が減った印象があり、走行しやすくなっています。
- ・『移動販売車14台』『宅配車50台』が新外環状道路をはじめ、高規格幹線道路を利用しています。
- ・新外環状道路開通による産業道路の混雑緩和に大きな効果を感じています。

■開通前の道道函館上磯線



■開通後の道道函館上磯線

